

「アジサイのライフサイクルをみてみよう」雑感

アジサイの葉っぱを見ると、花芽があるかどうか覗いてみます。花が咲かないアジサイは非常に残念です。花が終わった時に、剪定をしておくのと、翌年、花が咲きます。剪定の時期を遅くすると（7月以降）、翌年花が付かないことになります。

当初、ネットで剪定の方法を知りました。その時は花の下側を何節かでカットするようにとの事でした。この方法では花は咲きましたが、毎年毎年、背が高くなり、狭い庭が圧迫されてきました。

ある時、6月の中旬に台風が襲来し、折角の花が倒れ、茎が折れたため、根本でカットして、掃除しました。この状態から新芽が出てきて、夏の暑い夏の日差しで、葉っぱが繁り、ある程度茎も成長してきました。花こそ咲きませんでした。アジサイの立派な繁みができあがりしました。この状態で冬を迎え、正月を迎える頃には、葉っぱは落ち、茎のみで冬を越します。春になり、スイセンやチューリップが成長する時期になると、アジサイも葉っぱが繁り、葉っぱも大きく成り、花芽が成長し、立派なアジサイの花が完成してきます。

花が満開になり、花が終わった状態になった時（6月中旬～下旬）に、思い切って根本で剪定します。そうすれば、翌年同じ背丈で花が咲きます。本編ではこのアジサイのライフサイクルを画像と動画でみております